

## 書塾の仲間たち

第243回

### ラーニングテラス書道教室（東京都世田谷区）



#### ●書塾からひとこと●

当教室では、2018年の開設以来、二人の経験豊富な講師のもとで、お子様から大人の方まで幅広い年齢の方々がお稽古に励んでいます。書道を学ぶ落ち着いた雰囲気がありながらも、活気のある教室です。講師の先生から教室をご紹介いたします。

代表  
古旗 裕子  
ふるはた ひろこ

この教室での指導も6年目となり、子どもたちが書道を通じ沢山の経験を重ね、日々成長していく姿に指導者として喜びを感じています。「守・破・離」の言葉通り、基本をしっかりと習得しながら、大人も子どもも楽しく学んで貰ただくことに注力しています。  
気忙しい現代において、心を静かに保ち、一筆入魂して文字を書くことは、集中力や情緒を育む上で大変貴重な時間だと思います。また、子どもたちの成長には目を見張るものがあり、苦手な筆使いも練習を重ねてできるようになるという成功体験から、努力は報われることを学び、自己肯定感へ繋げてほしいと考えています。

◆  
書道が子どもたちの可能性を広げ、人生を豊かに導く光となることを願い、今後も指導してまいります。

◆  
講師 田中 霞翠  
たなか かすみ

当教室にはお子様から大人の方まで幅広く通ってくださっています。熱心な方が多く、「今日は清書の日ですよ」と言うと、いつも増してスイッチが入ったように自分の納得のいく作品ができるまで没頭しています。その姿を見て講師の私まで感動と刺激を受けています。また、「先生のお教室に通つて、学校から出品する書道展覧会でも優れた賞をいたくことができました」と親御さんにも喜んでいただけたことが増えました。

たくさんの生徒さんや親御さんからのありがたい言葉を励みに、私もとともに精進し、楽しいお稽古の時間になるよう努めたいと思っています。

◆  
講師 山根 香苑  
やまね こうえん

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

私は、小学校一年生の頃から書道を習い始めました。始めたきっかけは、おばあちゃんにすすめられましたことと、自分自身も字をきれいに書けるようになりたいと思ったからです。

習い始めた頃は、筆が上手く使えず持ち方を直されたり、墨をつけすぎで滲んでしまうなど沢山苦労しました。しかし同じ教室に字が上手な友達がいて、私も友達に追いつけるように自分で毎回「今日は止め、はね、払いを気をつけよう」など、目標を決めて頑張りました。小学校三年生の頃に初めて月刊「書写書道」誌に私が書いた毛筆の作品が選ばされました。とても嬉しかった上手くなりたいという気持ちが強くなりました。それから学校の先生や友達に「字がきれいだね」と褒められたり、書き初めや席書コンクールなどで私の作品が選ばれることが増えました。

今は、色々な場面でこれまでの成果が出て書道に楽しく取り組むことができています。こんなに楽しく取り組んでいるのは、いつも丁寧な説明で優しく教えてくださる先生や一緒に頑張っている友達のおかげです。

高校生になった今も、書道を習っていて本当に良かったと思っています。

今後の目標は、色々な字体に挑戦して「書写書道」の級を上げていくことです。これからも自分なりに努力して上手く書けるよう頑張ります。

色々な字体に挑戦しています

日本大学三島高等学校二年 原川 莉奈

中学 高 大 一 般 年	現段級
	級
	段
	氏名
	原川 莉奈



## 私と書写書道 第243回

私は中学二年生の時、母の知人の紹介で自宅近くの書道教室に通い始めました。そこで出逢った先生は私を娘のように育ててくださいました。月刊「書写書道」誌の競書の出品や百人一首、「奥の細道」などの作品、他にもインテリアとして飾るための作品づくりなど、文字を書くだけではない「書道の楽しさ」を教えてくださいました。学校で展覧会がある時は、夜遅く納得のいくまで作品づくりに付き合ってくださいり、そのおかげで初めて県展に入賞することができました。

お稽古を毎回楽しみに十年以上通った教室ですが、仕事の都合で急遽関東から関西へ引っ越しすることとなり、継続が難しくなりました。その時すでに「書写書道」の硬筆昇段試験で結果待ちだったので、事務局にご相談したところ、関西在住の先生をご紹介いただきました。

そこで「二人目の先生」とお会いすることになるのですが、初めて電話でお話しした時、今まで関わってきた人たちとは雰囲気の異なる明るさを持つた方だと感じました。数日後に教室を訪問することになり、先生は最寄りの駅で「書写書道」を手にして待っていてくださいました。それから一年。教室の扉を開く度、先生はいつも笑顔で私を迎えてくださいます。

一年。教室でのお稽古は正しい筆の持ち方に始まり、競書出品の際には古典原本法帖の形臨があります。細太・遅速・緩急などをよく観察して洞察力を養うように心掛けています。

「千里の道も一歩から」。私は書の道を歩み始めたところです。私に関わってくださっているすべての人とのご縁を大切に、研鑽を重ね、大好きな書



一期一会、「」縁を大切に精進します  
大阪府高槻市 宮倉 穂奈美

